



【シャカリキ】[名][形動]夢中になって何かに取り組むこと。お釈迦様が人々の幸せのために力の限りを尽くしたことから、このような姿を「お釈迦様の力=釈迦力」というようになりました。



妙見山法得寺

〒546-0012 大阪市東住吉区中野4-5-26
Tel.06-6702-7373 Fax.06-6700-6002
e-mail: info@houtokuji.net

永代供養専用ダイヤル Tel.06-4302-4194 (よくよう)
ホームページ <http://www.houtokuji.net>

報告 お地蔵さん点灯!

法得寺には、知る人ぞ知る「お地蔵さん」が有らせられます。稲荷堂(いなりどう)の祭壇右に三体が祀られています。

住職曰く。一体は「いわゆる地蔵菩薩さま」、もう一体は「延命地蔵」らしい。そして最後の一体は、シャバ世界を旅しての末、当法得寺に今年、顔だけがやって来ました。「頭」のみの菩薩さまでは「かわいそう」ということで、住職が胴体を石屋さんに注文し、第三の「お地蔵さま」として甦りました。

「旅の菩薩さま来る!?!」というこ

とで、法得寺の「地蔵盆」は装いが変わりました。稲荷堂内の閉じこもりを改め、山門から裏の駐車場の門まで「ちょうちん」を連ね、通り抜けとして開放いたしました。

山門には、元総代の大屋政子さまの提灯を新調し、LED電球で明るく灯しました。夜9時近くまで、約60個のちょうちんを点灯してお地蔵さまに感謝申し上げたのです。

近所の皆さんも、何が起こるのか!?興味しんしんで眺めていました。法得寺の参道の通り抜けをされた娘さん。金千円のお供えまで

いただいたご近所さま。来年もよろしくお願ひいたします。



平成25年度新調された「ちょうちん」

大屋さま 北口さま 桑原さま
石田さま 杉本さま

ちょうちんの奉納料は一つ3,000円からです。来年まで順次募集します。

え!! 地蔵さま旅をする!?

お地蔵さまは旅をしながら人助けをしています。何処を旅してきたのか、誰もが分かりませんがね。お地蔵さまとは菩薩さまで、お釈迦様に次ぐ偉い神様。その地蔵菩薩は「一斉の衆生の請願を果たさずば、我、菩薩界に戻らじ」との決意でその地位をはなれ、六道を自らの足で旅をし、救われない衆生、親より先に世を去った幼い子供の魂を救って旅を続けるのです。

(※六道とは地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人道、天道のこと)

幼い子供が親より先に世を去ると、親を悲しませ親孝行の功德も積んでいないことから、「三途(さんず)の川」を渡れず、さいの河原で鬼のいじめに遭いながら石の塔婆作りを永遠に続けなければならないとされ、さいの河原に率先して足を運んでは鬼から子供達を守ってやり、仏法や経文を聞かせて徳を与え、成仏への道を開いていく逸話は有名です。

このように、地蔵菩薩は「もっとも弱い立場の人々を最優先で救済する菩薩」であることから、古来より信仰の対象となったのです。

●お地蔵さまの豆知識●

地蔵菩薩は仏教信仰の一人の神様のことですね。地蔵の「地」は大地のこと、地蔵の「蔵」は母の子宮・胎内のことです。大地が全ての命を育む力を蔵するように、苦悩の人々をその無限の大慈悲の心で包み込み救う所から名付けられたとされます。

一般的には「子供の守り神」として信じられており、よく子供が喜ぶお菓子が供えられています。

関西では親しみを込めて「お地蔵さん」、「お地蔵様」と呼ばれています。